

生活機能・目標志向 からみた老年看護



超高齢社会が到来した現代日本。看護界の大きなリソースが老年に注がれる時代が始まっています。高齢者のケアと、一般的な看護対象者へのそれとはニーズが大きく違うこと——いわゆる「生活者」としての老年を捉えるのに、従来の看護過程の中心であった「問題解決型思考」の限界を超え、「目標志向型思考」はじめ「病態・生活機能関連図」といった新たな看護展開の導入を提案した『生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図』（2008年小社刊）は、全国の読者の熱い支持を得ました。

ここでいう「目標志向型思考」の「目標」とは、看護する側の目標ではなく、患者そのひと“からみた”そのあるべき姿であること。老年にとどまらない、クライアント中心の看護をもたらす新潮流への理解を深めるため、本特集と教科書『老年看護学』（系統看護学講座）と、実習ガイド・サブテキストとしての『老年看護過程』。三位一体でぜひご覧ください。